

公民館だより なかがわ

第526号

令和8年9月1日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

【一般講座】

参加者募集

「フェルトで作るオーナメント」 ～クリスマスツリーを飾ろう～

日時：10月20日（火）10：00～12：00頃
場所：中川地区公民館 図書室
講師：高木 直 さん（山形大学名誉教授）
内容：壁や玄関、ドアノブなどに飾れる
オーナメント1個です。（縦30cmくらい）
すぐに作れるキットを先生が準備して
下さいます。

持ち物：裁縫道具、刺繍針（ある方）、布切はさみ、
ツリーに付けたいリボンやビーズなどが
ご自宅にありましたらご持参ください。
紙切はさみ、えんぴつ、
飲み物、必要な方は眼鏡

材料費：700円（おつりのないよう）
対象：中川地区民
定員：先着10名程度



緑

赤

※赤、緑のどちらかの色を選んでお申込み下さい。
公民館に見本がありますのでお声かけ下さい

「中川福祉村大運動会」

日時：10月4日（日）9：00～
場所：中川地区公民館 広場
内容：花笠音頭
なにで運ぼう
〇×クイズ
綱引きチャレンジ
目指せホールインワン
パン食い競争
紅白まり入れ
村長とジャンケン大会 など
対象：中川地区民

入賞賞品や参加賞が
ある競技もあるよ！！



※詳細は、地区回覧チラシをご覧ください！

お申込み・お問合せ：中川地区公民館（☎679-2501）

9月・10月行事予定



9/1(火)	市報、館報 三者会、森開公総会、会長会	10/1(木)	市報、館報
9/8(火)	そば打ち愛好会	10/2(金)	三者会、会長会、公民館運営協議会
9/11(金)	ウォーキング教室（職員不在時間帯あり）	10/4(日)	中川福祉村大運動会
9/12(土)	少年少女球技大会「グラウンド・ゴルフ」	10/9(金)	ウォーキング教室（職員不在時間帯あり）
9/18(金)	一般講座「秋の寄せ植え教室」（午後）	10/16(金)	粋いき倶楽部（職員不在時間帯あり）
9/25(金)	高齢者グラウンド・ゴルフ大会		中川福祉村文化産業まつり実行委員会
9/29(火)	パソコンクラブ	10/19(月)	グラウンド・ゴルフ愛好会大会
		10/20(火)	一般講座「フェルトで作るオーナメント」
		10/23(金)	パソコンクラブ
			中川地区地域推進会議
		10/30(金)	そば打ち愛好会

グラウンド・ゴルフ愛好会
（月曜日） 9/7、14、28
詩吟教室 （火曜日） 9/8、15、29

ラージピンポン愛好会（木曜日） 9/3、10、17、24、
スポーツ麻雀愛好会 （木曜日） 9/3、10、17、24



敬老の日（9月21日）おめでとうございます！

中川地区敬老対象者（80歳以上） 532 人 （令和8年6月19日現在）

〈各地区・施設 賀寿対象者人数〉

糸目地区（米寿1名） 金谷地区（米寿1名） 甲石地区（米寿2名） 高野地区（米寿2名）
永野地区（米寿3名、白寿1名、満100歳1名） 権現堂地区（米寿3名、白寿1名）
小倉地区（米寿1名） 棚本地区（白寿1名）
長寿園（米寿4名） 蓬仙園（米寿2名、白寿4名）

80歳以上の敬老対象の皆様へ、9月中旬頃に敬老祝品を各地区会長会よりお届けいたします。
中川地区のこれまでの発展は、皆様方のたゆまぬ努力のおかげです。
中川地区公民館は、より一層中川地区が向上できるよう様々な事業に取り組んで参りますので、
皆様方におかれましては、どうぞ末永くお元気で過ごしてくださいませよう心より祈念申し上げます。

【一般講座】「第1・2回スマホ教室」



第1回は7月7日（火）、第2回は7月28日（火）にソフトバンク(株)よりそれぞれ2名の講師に来ていただき「スマホ教室」が開催されました。デモ機を使用しての講習で、まだスマホを持っていない方の参加も可能な基本講座にプラスして、第1回はLINE体験、第2回はネット詐欺対策について教えていただきました。講師の方の楽しいトークに加え、とてもわかりやすい説明であつという間の2時間でした。LINE体験では実際に文字や写真を送信したり、ビデオ通話を試みたりと楽しく学ぶことができました。ネット詐欺対策では、日頃から不安に思っている方も多く、参加者は熱心に聞いていました。とは言え、「覚えつつもりでもすぐ忘れてしまう」との声もあり、1、2回の講習で覚えられるものではありません。公民館でも毎年、講習会を開催していきたいと思っていますので、毎回参加してたくさんスマホに触れて、習ったことをどんどん使ってスマホに慣れていきましょう！！

第1回目



第2回目



わんぱく広場「花火祭り」



7月27日（月）わんぱく広場『花火祭り』を開催しました。前日まで雨が降ったり止んだりドキドキしていましたが、絶好の花火日和となりました。たくさんの子供達が集まり、早く花火を始めたい気持ちをグッと堪えて、消防団の方からの注意点のお話を聞き、いざスタート！！『始めま〜す！！』の合図と共にパラシュート花火→打ち上げ花火→各自持参していただいた花火で、家族やお友達と一緒に楽しく過ごすことが出来ました。『どの辺でやる？』『ヒノカミ神楽〜🔥』『いえ〜楽し〜い♪』などと、たくさんのお言葉をいただきました。締めくくりは館長とじゃんけん大会！！景品の争奪戦となりました。この事業が楽しい夏休みの思い出の1ページになってくれることを願っています。最後に役員の皆様、同伴して下さった保護者の皆様、消防団の木村さん武田さん、地域づくり推進員の武田さん、暑い中ご協力いただきありがとうございました。来年もまた開催したいですね〜🍻



【一般講座】「大人のピッツァ作り体験教室」

8月7日（金）齋藤 秀明館長を講師に「大人のピッツァ作り体験教室」が開催され、館長こだわりの自家製野菜をたっぷり使った3種のピザを作りました！一枚目は、持ち帰り用の野菜たっぷりピザで、前日から準備していただいた生地を薄〜くのばして、丸い形にするのが難しかったですが、たくさん野菜をのせて準備完了！焼き上がる頃に、2枚目のルッコラと生ハムのピザを作り始めました。チーズだけで焼き上げたピザに生ハムと自家製ルッコラをたっぷりのせて出来上がり！「美味しい！」の一言に尽きます。最後にサラミのピザは、トマトソースをベースにサラミと野菜をたっぷりのせて焼き上げました。楽しいピザ作りでお腹も大満足の充実した時間となりました♪



第4回 粋いき倶楽部

8月18日（火）に第4回粋いき倶楽部の健康教室「モルック大会」が開催されました。ほとんどの会員さんが体験したことのある「モルック」ですが、初めての方もコツを覚えて狙ったピンに当てられるようになり、予定していた2回戦ではなく3回戦の合計で上位を競い合いました。回を追うごとに高得点のピンに当てたり、ちょうど50点になる方も増えてきて大変盛り上がりました！皆さん久しぶりの「モルック」を楽しんでくれたようです♪



中川地区ソフトボール大会

8月23日（日）、第49回中川地区ソフトボール大会が、今年も「(株)藤庄メディアプラス」のソフトボールクラブの皆さんをご招待し、「甲石」「高野」チームの参加で開催されました。まずは甲石と高野の2チームでの試合の後、甲石・高野の合同チームと藤庄ソフトボールチームの戦いとなりました。地区2チームでの試合は優勝は甲石、準優勝は高野となりました。合同チームと藤庄ソフトボールチームとの試合では同点となりました。朝から暑い中ではありましたが、藤庄ソフトボールクラブの皆さんが参加して下さったことで今年も楽しく試合ができたようです。参加して下さった皆様、朝早くから準備して下さった関係者の方々、大変ありがとうございました。来年こそは！もっとたくさんの参加者をお待ちしております！！



藤庄ソフトボールチーム



甲石チーム



高野チーム

市道上生居堀切線・市道永野開拓線 整備促進期成同盟会総会開催

8月24日（月）、市道上生居堀切線・市道永野開拓線整備促進期成同盟会総会が22名の参加で開催されました。初めに、現地の視察をした後、公民館にて令和7年度事業報告、8年度事業・収支予算計画（案）の審議、役員選出等が行われました。



おらほの中川へ地域の話題シリーズ 第二百十五弾

「昭和考、問わず語り（その67）」

甲石地区 高橋 正之

アメリカとの戦争を避けたい近衛首相は、外交交渉に希望を託しますが、東条等の強硬派と対立し総辞職に追い込まれます。その後継の木戸内大臣は、天皇の了解を得て、東条に軍を抑えさせようとし、す。しかしその期待に答えられずに、東条は国策を進めます。

本稿では、東条首相の国策の進め方について記述します。

へなせ東条に下命したか虎穴に入らずんば虎児を得ず

内外で最強硬派として知られた東条を首相に選定したのは木戸幸一（写真）と天皇であつた。

近衛首相が内閣を投げ出す決心をした十月十四日夜の段階では、一時東条周辺が推す皇族の東久邇宮が最も有力とみられていた。しかし木戸は、皇族内閣で開戦に突入し敗北するようなことにもなれば「皇族が怨府（えんぶ、人々のうらみの集中する所）となる」（木戸幸一日記）と強く反対した。天皇も近衛に対し「戦争にでもなるといふ虞のある場合には、尚更皇室の為から考えても皇族の出ることはどうかと思う」（近衛文磨手記「平和の努力」「昭和戦争文学全集別巻」と東久邇宮案に反対した。

その結果、木戸は事態の経過を知悉し、九月六日の御前会議の決定を実行するのが困難なことを理解している東条に任せることにし、事前に天皇の了解を得たのだった。しかも木戸の判断は、東条が中国侵略政策を推進してきた統制派軍人の代表格であることを、十分に承知したうえでのことだった。

（木戸が東条を推した理由について、「陰謀の日本近現代史」保坂正康著、朝日選書では、重臣会議で木戸は、「必要なのは、陸海軍の一致と九月六日の決定を再検討することだ。そこで東条陸相に大命降下して、陸相を兼ねてもらい、陸軍を抑えさせるのだ」と発言。（中略）東条を使って対米戦の強硬派を抑えつけるという荒唐治は、木戸の説得によって重臣も納得した。と述べている。）

国策再検討の使命を果たせず

東条首相は、十月十八日の初閣議後、陸海軍、外務、大蔵各省、企画院、大本営陸海軍部に對し、十一項目からなる「『帝国国策遂行要領』の具体的研究」を示し、国策の再検討を要請した。

これは九項目までが戦争の勝敗の見通しであり、わずかに一項目が日米交渉打開の可能性を取り上げていたにすぎなかった。根本的な国策の再検討でもなく、戦争政策の転換でもなかった。

十月下旬から正味七日間かけた大検討の結果、東条首相は十一月一日の大本営政府連絡会議で三案①戦争せず臥薪嘗胆する②直ちに開戦する③戦争決意の下で外交交渉を進めるを提示した。

会議は激論の末、東条首相が希望する第三案の方針に進むことに決した。この経過に基づき、御前会議にかけける原案作成が行われた。これが九月六日の御前会議の決定に代わる新たな「帝国国策遂行要領」だった。

結論としては、開戦は十二月初頭とするが、外交交渉は、十二月一日零時まで継続するという方針が決定された。形の上では和戦両論で外交交渉の案として「甲」「乙」の二案が用意されたが、どちらも米側の政策とはかけ離れ、妥協の可能性はなかった。

そして、十一月五日の御前会議で「帝国国策遂行要領」が正式に可決されたのである。

この要領は、九月六日の御前会議決定と同名であるが、武力発動の時期を明確に定めたことで大きく異なっていた。

海軍が開戦準備を発令

御前会議の開催された十一月五日、永野修身軍令部総長は、山本五十六連合艦隊司令長官に對し、十二月月上旬米英蘭に開戦を予期し「所要ノ作戦準備ヲ実施スベシ」との大海令第一号を発令した。すでに海軍は、九月一日以降、全軍の戦時編制を実施していた。十月初めまでに百六十一万トンに達する船舶の徴用を行っており、補給部隊の編制も進んでいた。

十一月七日には、第一開戦準備が発令され、開戦予定日（Y日）を十二月八日と指定した。十二月八日は、米国では日曜日にあたり真珠湾に在艦数が多く、また残月が日の出前まで明るく、空母からの発艦が容易となるという理由で決められた。ハワイ作戦に従事する先遣隊の潜水部隊は、十一月十一日に内地を出港した。

機動部隊の各艦は、十七日から十九日にかけて待機地点である択捉（エトロフ）島の単冠（ヒトカップ）湾に向かった。

陸軍、南方軍の戦闘序列を発令

陸軍は、十一月五日の御前会議終了直後、杉山参謀総長が南方軍の戦闘序列と作戦準備の実施命令に關して允裁（いんさい）を仰いだ。

翌六日、大陸令第五五五号で南方軍の戦闘序列が発令され、フィリピン、タイ、ビルマ、蘭印、マレー、香港、グアム島のそれぞれの攻略司令官が任じられた。

陸・海軍の南方作戦部隊は、十一月中旬から南部仏印、パラオ、海南島、中国南部、澎湖島、台湾、奄美大島、南洋群島、小笠原諸島及び内地に展開していった。（昭和二年の全記録」講談社刊より。写真はウィキペディアより。）

（次回は、日米交渉の状況について記述する予定です。）

